

科目名	臨床心理学			ナンバリング	REG182	授業形態	演習
対象学年	4年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	1単位
代表教員	山本佳子	担当教員					

授業の概要	<p>心理面接の基本的態度やスキルについて、実習場面を通して習得する知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし、具体的な場面を想定した役割演技(ロールプレイング)を行い、かつ、事例検討で取り上げる。</p> <p>① 心理に関する支援を要する者等に関する以下の知識及び技能の修得 ア コミュニケーション、イ 心理検査、ウ 心理面接、エ 地域支援等</p> <p>② 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成</p> <p>③ 心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ</p> <p>④ 多職種連携及び地域連携</p> <p>⑤ 公認心理師の職業倫理及び法的義務への理解</p>
到達目標	<p>心理に関する支援(相談、助言、指導その他の援助)</p> <p>① 代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義及び適応について概説できる。</p> <p>② 訪問による支援や地域支援の意義について概説できる。</p> <p>③ 心理に関する支援を要する者の特性や状況に応じて適切な支援方法を選択・調整することができる。</p> <p>④ 良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>⑤ 心理療法やカウンセリングの適用には限界があることを説明できる。</p> <p>⑥ 心理に関する支援を要する者等のプライバシーに配慮できる。</p>
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	<p>授業で使用する専門用語については、授業後各自調べ、理解しておくこと。</p> <p>日常生活の中でも、自らのコミュニケーションに注意深くなり、自己や他者の感情の動きについて敏感に観察できるとよい。</p>
ディプロマポリシーとの 関連	【薬学部薬学科のディプロマポリシー】
	○ 1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を具現できる。
	2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。
	○ 3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。
	○ 4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。
	○ 5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
<p>① 代表的な心理療法並びにカウンセリングの概要について説明できる。</p> <p>② 地域支援の概要について説明できる。</p> <p>③ 心理に関する支援を要する者の特性や状況に応じて適切な支援方法が異なることを説明できる。</p> <p>④ 良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの必要性について説明できる。</p> <p>⑤ 心理療法やカウンセリングの適用には限界があることを説明できる。</p> <p>⑥ 心理に関する支援を要する者等のプライバシーに配慮する必要性について説明できる。</p>	<p>① 代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義及び適応について概説できる。</p> <p>② 訪問による支援や地域支援の意義について概説できる。</p> <p>③ 心理に関する支援を要する者の特性や状況に応じて適切な支援方法を選択・調整することができる。</p> <p>④ 良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>⑤ 心理療法やカウンセリングの適用には限界があることを説明できる。</p> <p>⑥ 心理に関する支援を要する者等のプライバシーに配慮できる。</p>

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○		○	○	○		50%
宿題・授業外レポート	○	○					35%
授業態度・授業への参加			○	○			15%

課題、評価のフィードバック	試験の解答用紙は、要請があればいつでも開示できるよう準備しておく。
---------------	-----------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	カウンセリングの概念、学ぶ意味	カウンセリングの定義、目的を説明し、授業の目的を明らかにする。	
	第2回	カウンセリングの歴史	「カウンセリング」の成立までの流れを知り、当初の必要性を明らかにする。	
	第3回	カウンセリングの意義・働き	カウンセリングの具体例を示し、その意義や働きについて説明する	
	第4回	代表的な心理療法	代表的な心理療法(行動療法・精神分析・認知療法)についてその背景と共に説明する。	
	第5回	来談者中心療法1	ロジャーズの来談者中心療法の理論について説明する。	
	第6回	来談者中心療法2	来談者中心療法の基本となるカウンセリング技法について説明し、ロールプレイで体験する。	
	第7回	来談者中心療法3	傾聴について解説し、体験を重ねる。	
	第8回	地域支援1	カウンセリングの応用としての「地域支援」についての現状を解説する。	
	第9回	地域支援2	地域支援の実際について、具体例をもとに、あるべき姿をディスカッションする。	
	第10回	訪問支援	訪問支援の在り方や、今後のコミュニティづくりについて共に考える。	
	第11回	日常生活の中でのカウンセリングマインド	日常生活の中で生かせる「カウンセリングマインド」について共に考える。	
	第12回	カウンセリングの限界	カウンセリングの限界例について知り、その適用について考える。	
	第13回	カウンセリングの限界	カウンセリングの危険性について事例をもとに考える。	
	第14回	カウンセリングの倫理	プライバシーを守ることと、対象者の安全の確保について考える。	
	第15回	カウンセリングの今後の発展	カウンセリングの社会での今後の働きについて考える。	
	試験	定期試験は行わない。		
授業の進め方		授業は、講義とロールプレイ、ディスカッションで、構成する。		
授業外学習の指示		講義内容については、知識として習得するだけでなく、その意味を理解し、ロールプレイで試行するスキルと共に、日常生活の中でも活用・練習できるように心がけること。 ディスカッション課題については、他者の意見を参考にしながらレポートのまとめる。 (授業外学習時間: 毎週 60 分)		

教科書	教科書は指定しない。
参考書	必要に応じて推薦する。
参考URLなど	
その他	